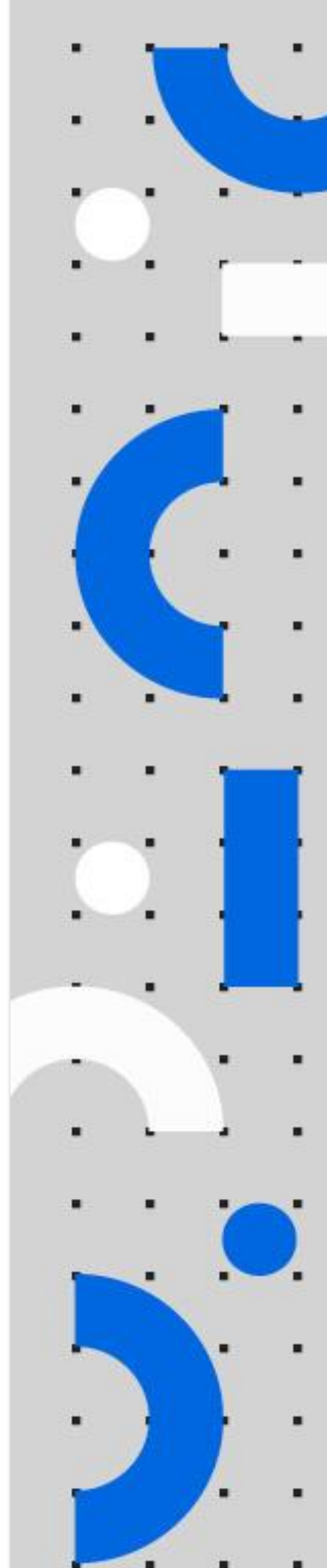


UiPath Kibana Dashboard

テンプレート

インポート操作手順



リビジョン履歴

Date	Version	Author	Description
2019/09/10	1.0	UiPath Japan Team	First version
2023/06/21	1.1	UiPath Japan Team	Updated for ES/K v8.x

商標について

- UiPath のソフトウェア、製品、サービス、(これには、UiPath Orchestrator、UiPath Robot、UiPath Studio が含まれますが、これらに限りません) はアメリカ合衆国で登録された UiPath Inc.、 および他の国・地域で登録された UiPath の関係会社の商標または登録商標です。UiPath のロゴは UiPath Inc. が所有するものであり、UiPath の事前の明示的な許可なく、お客様及びその他の方が使用することはできません。
- Microsoft のソフトウェア、製品、サービス (これには、Microsoft、Windows、Windows Server、SQL Server 及び Active Directory が含まれますが、これらに限りません) は アメリカ合衆国で登録された Microsoft Corporation 及び他の国・地域で登録されたその関係会社の商標または登録商標です。
- Oracle のソフトウェア、製品、サービス (これには、Java も含まれますがこれに限りません) は アメリカ合衆国で登録された Oracle 及びその他の国・地域で登録された関係会社の商標または登録商標です。
- Elasticsearch is a trademark of Elasticsearch BV, registered in the U.S. and in other countries.
- Kibana is a trademark of Elasticsearch BV, registered in the U.S. and in other countries.
- その他、記載されている製品名、会社名およびサービス名はそれぞれの各社の商標または登録商標です。

免責事項

- 本ガイドの内容は 2023 年 6 月現在の情報です。製品の新しいリリース、修正プログラムなどによって、動作・仕様が変化する可能性がありますので、予めご留意ください。
- 本ガイドは各コンポーネントのインストール方法については記載していません。各コンポーネントのインストール方法につきましては各コンポーネントの公式ガイドをご確認ください。
- 本製品、本製品を構成するプログラムまたは本製品が依存しもしくは本製品と連携する外部サービスがアップデートまたは修正される等によって、本製品が本ガイドの説明と異なる動作をする、または仕様となる可能性がありますので、予めご留意ください。当該アップデートまたは修正等の後に本ガイドが改訂された場合には、当該改訂後の本ガイドが本製品を説明するものとなります。
- 本ガイドに含まれる情報は可能な限り正確を期しておりますが、本ガイドに記載された内容の正確性、充分性等に関して UiPath 株式会社 (以下「UiPath」といいます。) は何ら保証していません。従って、本ガイドに含まれる情報の利用はお客様の責任においてなされるものであり、UiPath はガイドの内容によってお客様が受けたいかなる損害に関して何らの補償をするものではございません。
- 本ガイドは UiPath を法的に拘束する書類ではありません。UiPath はお客様に通知なくして、本ガイドの内容の一部または全部を修正およびアップデートできます。
- 本ガイドの著作権などの一切の知的財産権は、UiPath またはその関係会社に帰属します。お客様は UiPath の書面の承諾なしで本ガイドを複製、修正、頒布、公衆送信等できません。

目次

1. Kibana Dashboard テンプレートインポート方法.....	5
1.1. Elasticsearch v6.8 または v7.x の場合.....	5
1.2. Elasticsearch v8.x の場合.....	8
2. 参考 Tips (v8.x ダッシュボード)	11
2.1. エラーログ分析ダッシュボード.....	11
2.2. 端末利用状況ダッシュボード.....	12
2.3. ライセンス利用状況ダッシュボード.....	12
3. 技術支援のご案内.....	13

1. Kibana Dashboard テンプレートインポート方法

1.1. Elasticsearch v6.8 または v7.x の場合

	<p>Elasticsearch v6.8、v7.x 用の「uipathKB_KibanaDashboard.json」ファイルがダウンロードされていることを確認します。</p>
	<p>Kibana 管理画面にアクセスし、トップ画面が表示されることを確認します。 確認後、左ペインで[Management]をクリックします。</p>
	<p>左ペインより[Saved Objects]をクリックします。</p>

<p>Export 157 objects Import Refresh</p> <p>Typically objects are only modified via their associated</p> <p>Type ▾ Delete Export</p> <p>Actions</p>	<p>画面右上に表示される[Import]をクリックします。</p>
<p>Import saved objects ×</p> <p>Please select a JSON file to import</p> <p>↓</p> <p>Import Remove</p>	<p>[Import]をクリックします。</p>
<p>Import saved objects ×</p> <p>Please select a JSON file to import</p> <p>↓</p> <p><u>uipathKB_KibanaDashboard.json</u> Remove</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Automatically overwrite all saved objects?</p> <p>Cancel Import</p>	<p>エクスプローラーが表示されるため、ダウンロードした「uipathKB_KibanaDashboard.json」ファイルを選択し、右下の「Import」をクリックします。</p>

Import saved objects

Index Pattern Conflicts
The following saved objects use index patterns that do not exist. Please select the index patterns you'd like re-associated with them. You can [create a new index pattern](#) if necessary.

ID	Count	Sample of affected...	New index pattern
a68e3620-f47c-11e8-bb6a-230cb04eba49	1	Errors_Error by Robot and Process	-- Skip Import -- default-*
a78e3620-f47c-11e8-bb6a-030cb04eba49	1	Errors_Error details table	default-*
e15a8c10-d38c-11e8-882b-edc517b8f920	1	Errors_Errors per Process	default-*
a68e3620-f47c-11g8-bb6a-030cb04eba49	1	Errors_Errors per Robot and Machine	default-*

Rows per page: 5

Cancel Confirm all changes

[Index Pattern Conflicts]が表示された場合は全てのプルダウンで「default-*」を選択し、[Confirm all changes]をクリックします。

本テンプレートは「default-*」インデックスパターンのみ対応しています。

また Kibana 6.7 以前のバージョンの場合はインポートに失敗します。Elasticsearch、Kibana のバージョンアップを実施してください。

Import saved objects

✓ Import successful
Successfully imported 23 objects.

Cancel Done

「Import successful」と表示されたことを確認し、「Done」をクリックします。

これでインポートは完了です。

1.2. Elasticsearch v8.x の場合

	<p>Elasticsearch v8.x 用の「UiPath_Kibana_Dashboard.ndjson」ファイルがダウンロードされていることを確認します。</p>
	<p>Kibana 管理画面にアクセスし、トップ画面が表示されることを確認します。</p> <p>確認後、左ペインで「Management」をクリックします。</p>
	<p>[Kibana]セクション内の「Saved Objects」をクリックします。</p>
	<p>画面右上の「Import」をクリックします。</p>

<p>Import saved objects ×</p> <p>Select a file to import</p> <p>Import</p> <p>Import options</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> Check for existing objects ⓘ <input checked="" type="radio"/> Automatically overwrite conflicts <input type="radio"/> Request action on conflict <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> Create new objects with random IDs ⓘ 	<p>Import をクリックします。</p>
<p>Select a file to import</p> <p>UiPath_Kibana_Dashboard.ndjson Remove</p> <p>Import options</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> Check for existing objects ⓘ <input checked="" type="radio"/> Automatically overwrite conflicts <input type="radio"/> Request action on conflict <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> Create new objects with random IDs ⓘ <p>Cancel Import</p>	<p>ファイルが選択されたことを確認し、Import options はそのまま右下の「Import」をクリックします。</p>

<div data-bbox="129 271 762 517" style="background-color: #fff9c4; padding: 10px;"> <p>Data Views Conflicts</p> <p>The following saved objects use data views that do not exist. Please select the data views you'd like re-associated with them. You can create a new data view if necessary.</p> </div> <table border="1" data-bbox="129 528 762 846"> <thead> <tr> <th>ID</th> <th>Count</th> <th>Sample of ...</th> <th>New data v...</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>d3ca8f50-f2ea-11ed-9e89-57b4c5a70306</td> <td>4</td> <td></td> <td>uipa! ▼</td> </tr> </tbody> </table> <p>Rows per page: 5 ▼ < 1 ></p> <div data-bbox="129 987 778 1070" style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> Cancel Confirm all changes </div>	ID	Count	Sample of ...	New data v...	d3ca8f50-f2ea-11ed-9e89-57b4c5a70306	4		uipa! ▼	<p>Data Views Conflicts が表示された場合、New data view 欄で現在使用している Index Pattern を指定します。</p> <p>Confirm all changes をクリックします。</p> <p>※Index Pattern を作成していない場合は、[Kibana]-[Data Views]から、新規に Index Pattern を作成の上、本手順を実施してください。</p>
ID	Count	Sample of ...	New data v...						
d3ca8f50-f2ea-11ed-9e89-57b4c5a70306	4		uipa! ▼						
<div data-bbox="129 1211 478 1301"> <p>4 objects imported</p> <p>4 new</p> </div> <div data-bbox="129 1384 762 1547"> <ul style="list-style-type: none"> 📖 エラーログ分析 ✓ 📖 ライセンス利用状況 ✓ 📖 端末利用状況 ✓ 📖 実行ログ ✓ </div> <div data-bbox="129 1592 778 1682" style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> Cancel Done </div>	<p>インポートが成功したことを確認の上、「Done」をクリックします。</p> <p>これでインポートは完了です。</p>								

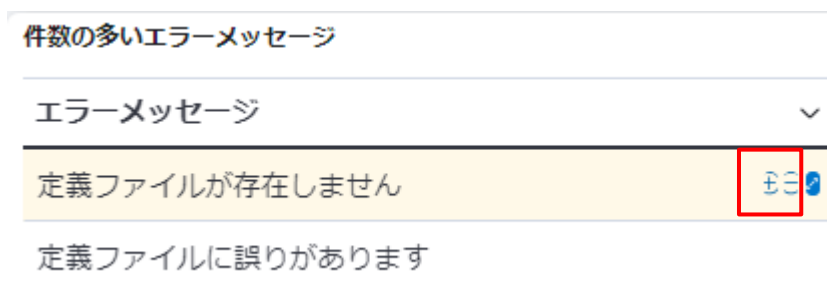
2. 参考 Tips (v8.x ダッシュボード)

v8.x 用のダッシュボードの利用方法例について簡単に解説します。

2.1. エラーログ分析ダッシュボード

全体的なエラーの発生状況や推移を確認できます。

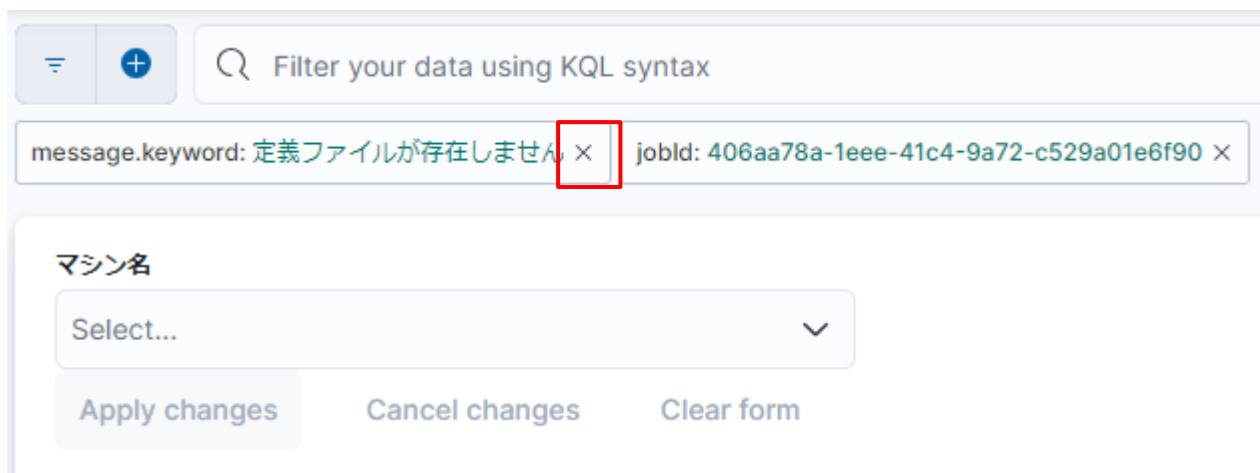
特定のエラーの詳細を確認したい場合、件数の多いエラーメッセージ一覧から、分析したいエラーメッセージのログにマウスカーソルを当て、+ボタンをクリックします。この操作によって、ダッシュボード全体が該当のエラーメッセージのみでフィルターされます。



指定した特定のエラー発生時間帯や端末ごとの発生状況を確認できます。

また特定のジョブに絞って確認をしたい場合、ダッシュボードの一番下の実行ログで、任意の jobId にマウスカーソルを当てて同様に+ボタンをクリックします。

この状態で初めにフィルターをしたエラーメッセージのフィルターをダッシュボード上部から削除します。



削除後に再度ダッシュボードの一番下の実行ログを確認すると、エラーメッセージが表示されるまでの Info ログを含むログの一覧を確認することができます。

実行ログ

Columns	1 field sorted	processName	jobId	level	message
Jun 9, 2023 @ 13:00:59.872	E01-2239	登録顧客情報変更処理	000aa78a-7e66-41c4-9a72-c5279a01ae1f90	Info	E01-2239 登録顧客情報変更処理 execution ended
Jun 9, 2023 @ 13:00:53.904	E01-2239	登録顧客情報変更処理	000aa78a-7e66-41c4-9a72-c5279a01ae1f90	Info	顧客情報変更処理完了通知: Error
Jun 9, 2023 @ 13:00:48.698	E01-2239	登録顧客情報変更処理	000aa78a-7e66-41c4-9a72-c5279a01ae1f90	Error	実行ファイルが存在しません
Jun 9, 2023 @ 13:00:34.869	E01-2239	登録顧客情報変更処理	000aa78a-7e66-41c4-9a72-c5279a01ae1f90	Info	実行ファイル読み込み処理開始
Jun 9, 2023 @ 13:00:27.691	E01-2239	登録顧客情報変更処理	000aa78a-7e66-41c4-9a72-c5279a01ae1f90	Info	顧客情報登録画面表示
Jun 9, 2023 @ 13:00:18.404	E01-2239	登録顧客情報変更処理	000aa78a-7e66-41c4-9a72-c5279a01ae1f90	Info	顧客情報登録システムログイン処理完了
Jun 9, 2023 @ 13:00:07.167	E01-2239	登録顧客情報変更処理	000aa78a-7e66-41c4-9a72-c5279a01ae1f90	Info	顧客情報登録システムログイン処理開始
Jun 9, 2023 @ 13:00:00.000	E01-2239	登録顧客情報変更処理	000aa78a-7e66-41c4-9a72-c5279a01ae1f90	Info	E01-2239 登録顧客情報変更処理 execution started

2.2. 端末利用状況ダッシュボード

マシン/ユーザーごとのロボット利用状況を確認できます。

※Elasticsearch の仕様上、指定期間内で一度も実行されなかったマシン/ユーザーはデータが無いため表示がされないことにご注意ください

2.3. ライセンス利用状況ダッシュボード

指定期間内に Studio および StudioX でジョブ実行され、実行ログが OC 内に存在するユーザー数をカウントすることができます。

Studio および StudioX でのデバッグ実行ログをカウントしています。

ライセンスを割り当てたユーザーが適切に Studio、StudioX を利用しているか確認することができます。

Elasticsearch v8.0 では Elasticsearch の不具合によりライセンス利用状況ダッシュボード内の一部の Visualize が正常に表示されません。この不具合は v8.1 で修正されています。

3. 技術支援のご案内

- UiPath 社では Orchestrator および周辺のテクノロジーに関わる技術支援の有償コンサルティングサービスを提供しております。下記のような課題に対して技術支援が必要なお客様は弊社担当営業までご相談ください。
 - Orchestrator 設計・構築・運用
 - ◇ シングル構成または HAA を含む冗長構成での導入支援
 - ◇ オンプレミスまたはパブリッククラウド環境への導入支援
 - ◇ インストール後のフォルダー・ロール設定など運用ルール策定支援
 - Orchestrator / Studio / Robot のバージョンアップ
 - ◇ ベストプラクティスに基づくバージョンアップ作業手順の策定支援
 - UiPath Insights または Elasticsearch / Kibana 導入・活用
 - ◇ ダッシュボード作成によるログ可視化の活用支援

以上